

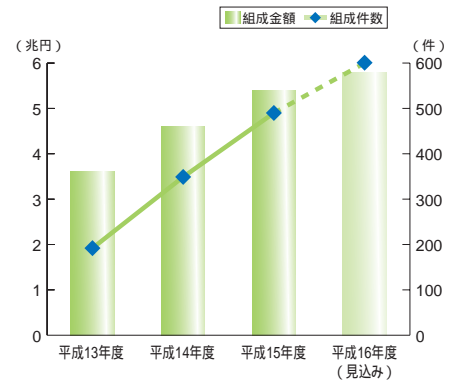
投資銀行ビジネス

SMFGは三井住友銀行の投資銀行部門とグループ会社の力を結集して、法人のお客さまの多様化する資金調達・運用ニーズやリスクヘッジ・M&Aなどのあらゆる経営課題に対し、最適なソリューションを提供し、お客さまの価値向上に積極的に貢献します。

三井住友銀行投資銀行部門のシンジケーション、ストラクチャード・ファイナンス業務、大和証券SMBC(株)の株式・社債の引受業務等、主要な業務分野で本邦トップクラスの実績を挙げているほか、三井住友銀行・大和証券SMBC(株)間の連携実績も着実に増加しています。

今後も投資銀行業務における総合的なソリューション提供能力の向上に努めていきます。

シンジケーションアレンジ実績



【具体的成果】

- 平成16年度上期は投資銀行業務収益、大和証券SMBC(株)の収益とも大幅に増加しました。また、三井住友銀行による本邦最大規模のリサイクル発電事業「東京都スーパーエコタウン」のFA獲得、大和証券SMBC(株)による普通社債、既公開株式公募・売出でのリーグテーブル第一位獲得等、市場での存在感も一段と向上しています。

【今後の施策】

- SMFGは、新たな金融手法の開発、証券仲介業等の新規ビジネスへの積極的な取り組み、シンジケーション等の市場型間接金融分野でのリーダーシップの発揮等により、グループ会社一体となって、お客さまの企業価値向上をサポートする最適なソリューションを提供してまいります。

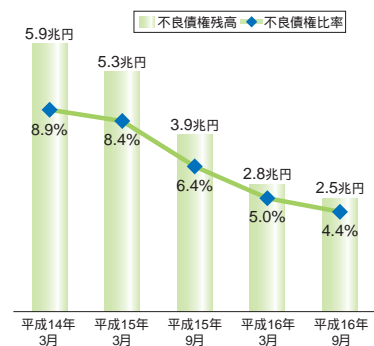
企業再生ビジネス

SMFGは三井住友銀行の戦略金融部門を中心として、企業再生ビジネスに積極的に取り組んでいます。

戦略金融部門は、取引先企業の再建や事業再編等に集中的に取り組むため、平成14年12月に発足しました。以来、破綻懸念先についてはオフバランス化手法を、大口主力先については産業再生機構や私的整理ガイドライン等を活用することにより、不良債権の処理を加速し、企業再生への取り組みを強化してきました。

最近では、企業再生ファンドが相次いで設立されるようになり、企業再生市場は活性化の兆しを見せています。三井住友銀行においても、破綻懸念先以下のオフバランス化のみならず、再生の可能性がより高い要管理先を中心とした取引先企業を対象に、さまざまな企業再生ファンドと協働して企業再生に取り組むなど、企業再生をビジネスチャンスととらえ、収益機会の拡大に努めています。

金融再生法に基づく開示債権 (除く正常債権)の推移【単体】



【具体的成果】

- 戦略金融部門を中心に不良債権の削減に取り組んできた結果、金融再生プログラムが掲げる不良債権比率の半減目標を半年前倒しで達成することができました。企業再生ファンドについては、一部では投下資金を上回る回収実績が挙がるなど、順調な滑り出しとなっています。

【今後の施策】

- 今後は、平成17年3月末の不良債権を一層圧縮すべく、企業再生への取り組みを着実に進める一方で、不良債権処理から企業再生ビジネスへ軸足を移してまいります。具体的には、近時の企業再生ファンドが相次いで設立されている状況に鑑み、これらのファンドに対する投資等を積極化することで、投資家の立場からも企業再生業務に積極的に関わっていきたく考えています。